

環境ミニ知識

新聞、テレビ、ニュースなどで見聞きするけれど、あまり知らない「言葉」や「現象」について少し知ってもらえたらいいな！と、ミニ知識を紹介するコーナーです。



アップサイクル

最近よく耳にする「アップサイクル」ですが、どういう意味でしょう。そもそも「アップサイクル」とは持続可能なモノづくりの新たな手段として、本来は捨てられるはずのものに新たな価値を与え再生することです。リメイクと混同しがちですが、リメイクやリユース、リサイクルとは異なります。ちなみにアップサイクルの対比語として「ダウンサイクル」があります。そこで問題です。「古いチラシを折ってごみ箱を作る」これはどちらでしょう。正解はこの会報誌のどこかにあります。



壊れたビニール傘がトートバッグに

サーキュラー・エコノミー

「循環型経済」を意味し、従来の大量生産、大量消費、大量廃棄を前提とした経済システムに代わる新しい考え方であり新しい「経済システム」のことです。考え方の原則は次の3つです。

1. 廃棄物と汚染を生み出さないこと（設計段階から製品やサービスをデザインする）
2. 製品や素材を流通・循環させ続けること
3. 自然を再生させること（製品を自然が持つ循環に戻していくこと）

この考え方から、アップサイクルという新たな手段が誕生しました。

ひとこと



はじめまして。2月1日より勤務しております田中明日香です。初めて聞く言葉、初めて知る情報ばかりで勉強の毎日です。私のように環境問題に興味はあっても、なんか難しそう…、何から始めたらいいの？と考えている方は多いのではないのでしょうか。これからの時代を担う子どもたちにどのように伝えれば分かりやすいのか、もっと興味を持って貰うにはどうしたらいいのかをこれから一緒に考えていけたらと思っています。よろしくお祈りします。

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第77号

令和5年4月1日発行（年4回発行）
発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号
サブリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：井上 浩一 編集責任者：丸井 晶子

この発行誌は再生紙を使用しています

市民・事業者・行政が協働し 環境先進都市を実現する ひらかた環境ネットワーク会議 会報誌

NO. 77
春号
令和5年
(2023年)

環境ひらかた



ひらかたエコフォーラム 2023 160名を超える来場者で大盛況！



2月11日「ひらかたエコフォーラム2023」を、サブリ村野にて開催しました。

午前の部・午後の部と、2部制での本格的な開催は3年ぶりでした。午後の部では久しぶりに講演会を実施しました。（詳しくはお知らせのページP6をご覧ください）

ブース出展会場は北館1階の1号室から4号室及び、南館2階環境情報コーナーで、そして表彰等の式典会場は南館2階の市民活動研修室でといった具合に、会場が分散されていましたが、大きな混乱もなく160名を超える来場者を得て成功裏に終えることができました。出展いただいた団体・事業者の皆様にはこの場を借りてお礼申し上げます。

令和5年度総会のお知らせ

令和5年度の総会を下記の通り開催します。（詳しくはP6に）

日時：2023年5月27日 10:30～

会場：環境保全研修室（サブリ村野

環境情報コーナー隣）



*****目次*****

エコフォーラム160を超える来場者で大盛況	P1
エコフォーラム2023報告	
インターン生活動報告	P2・3
部会報告等	P4・5
お知らせコーナー	P6
環境トピック VOL.43	P7
環境ミニ知識	P8



ひらかた エコフォーラム2023

午前の部では、「枚方市環境表彰」「緑のカーテン表彰」、温暖化対策の取り組み報告、環境家計簿「我が家のエコノート」継続者認定、エコ宣言当選者発表、スタンプラリー当選者発表が行われました。「枚方市環境表彰」を受けられた団体・事業者の方々をご紹介します。

【京セラドキュメントソリューションズ】

枚方市地球温暖化対策協議会に加盟されており自然エネルギーの導入、省エネの取り組み、地域の清掃活動など様々な環境保全・温暖化対策事業に取り組まれています。またプラスチック削減の取り組みとして、従業員約 2,300 人全員にマイボトルを配布し、プラスチックの削減を呼びかけられています。

【エシカルカウンセル】

蜜蝋ラップを「エシカルラップ」という商品名で全国展開しており、野外イベントでは蜜蝋ラップを作るワークショップも開催されています。また夏休みには子供向けの体験講座を開催し、脱プラスチックの普及に努めると共に、ごみを減らす生活や、地球環境をテーマにした地球にやさしい暮らしを広める活動をされています。

【地球益の会 みんなの野良くらぶ】

氷室地区における絶滅危惧種を含む豊かな自然環境を次世代に残していくことを目的に設立され、そのための人材育成、啓発活動などを行うと共に、竹林の間伐、倒木の処理、下草刈りや間伐材を利用した里山循環活動を実践されています。また、枚方市が実施している「里山講座」では、田植えや稲刈りを学ぶ小学生の「食農体験学習」の講師として指導もされています。



緑のカーテン表彰を受けられた方々です。環境情報コーナーに成果(作品)を掲示していますので、ぜひ見に来てください



来場くださったエコノート継続認定を受けられた皆さんです



来場くださったスタンプラリー当選者の方々です



来場くださったエコ宣言当選者の皆さんです



環境トピックス Vol.43

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回は、「原発事故から12年なぜ原発回帰か！」「171兆個のプラスチック粒子が海に！？」の問題です。

◆原発事故から12年なぜ原発回帰か！

2011年3月11日、日本列島に激震が走りました。東日本大震災です。この地震は東北地方を中心に12都道府県に及びましたが、特に福島、宮城、岩手の3県は、地震による津波・原発事故により壊滅的な被害を受けました。そうした東日本大震災から12年。未だ3万人もの人が避難生活を送っているという現実。にもかかわらず、震災の記憶を忘れてしまったかのような出来事がありました。それは、昨年12月に政府から出された「原発回帰」と言える基本方針です。中身は「原発の新規建設」と「運転期間の延長」です。昨年9月に発表された「第6次エネルギー基本計画」には「可能な限り原発依存度を低減する」と記載されています。にもかかわらず、再稼働を次々認め、運転期間も最長60年までとしていたその期間の延長や新規建設も進めるなど、3・11の記憶と教訓を生かす姿勢は見えません。原発事故に学んで発足させた「原子力規制委員会」の独立性もないがしろにしているといわざるをえません。議論を尽くし被災地や国民に説得力のある丁寧な説明がなされることを望むばかりです。ちなみに、防衛費の大幅増の財源として、復興特別所得税の転用が浮上していますが「何をか言わんや」です。

◆171兆個のプラスチック粒子が海に！？

今年3月8日、アメリカの科学誌プロスワンに「世界の海は、推定171兆個(回収したとすると重量は約230万トン)のプラスチック粒子でできた「プラスチックスモッグ」に汚染されている」という研究結果が発表されたとCNNが報じました。国際研究チームが、1979年～2019年にかけて大西洋、太平洋、インド洋、地中海の約1万2000地点で収集されたデータを分析した結果、海洋のプラスチック汚染は05年以来、「従来の推定を大幅に上回る」「急激かつ未曾有の」規模で増大していることが分かったということです。

プラスチックの生産量は過去数十年で激増し、特に使い捨てプラスチックが急増しました。廃棄物管理システムはこれに追い付かない状況で、リサイクルされるプラスチックは日本ではマテリアルリサイクルとケミカルリサイクルを合わせ27%ですが、世界全体を見ると年間9%前後にとどまっているのです。早急に手を打たないと、取り返しがつかない状況になるのは想像に難くありません。



お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネットワーク事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

令和5年度総会のご案内

1面でお知らせしたように令和5年の総会を下記の通り開催します。昨年まで、できれば委任状又は議決権行使書による出席をお願いしていましたが、今年は久しぶりに、「出来るだけご出席をお願いします」と言うことで、会場に足をお運びいただけたらと思っています。しかし、交流会は残念ながら今のところ予定していません。

記

日時：5月27日 10:30～ 場所：環境保全研修室
議案書お届け：5月半ばを予定



●●●講演会のご報告●●●

今回のエコフォーラムでは、久しぶりに講演会を実施しました。エネルギー事情の逼迫を受け、電気代などが値上がりしていることもあり「エネルギーを考えよう～日本のエネルギー変革はどこへ向かうべきか～」をテーマに、関西学院大学総合政策学部教授 朴 勝俊 氏を講師にお迎えしご講演いただきました。少し難しい内容ではありましたが、30名を超える参加者は熱心に話を聞いておられました。



講演の中で「必要な政策措置」について“義務づけ・省エネ基準”“エネルギー市場改革”“補助金”“カーボン・プライシング(炭素税や排出枠取引)”“化石燃料等への補助金の廃止”“研究・開発・普及”の6つを挙げられましたが、これらの政策が行われるためには私たちが声を上げていかなければならないという事を感じられた方も多かったのではないのでしょうか。

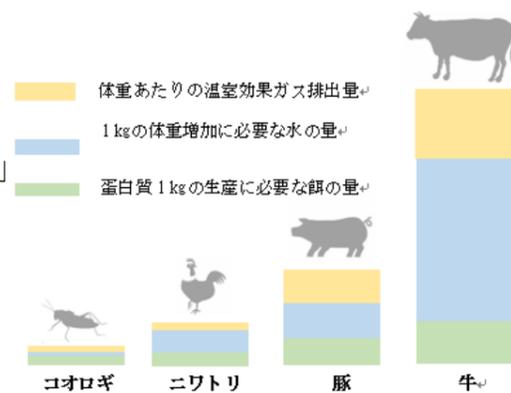
●●●環境ティールーム報告●●●

2/9 昆虫食が現実となる!?

2022年度の環境ティールーム第7回は、昨今注目を浴びている「昆虫食」を取り上げました。クローズアップされている背景に「地球温暖化などの環境問題」「世界人口の増加による食料・水不足」の問題があることを知り、また乾燥されてパウダー状になった昆虫がいろいろなものに利用されていることも知った一同は「へー!!」とビックリでした。

3/9 地産地消でみんなが笑顔!

「地産地消」といえば、食べ物を思います。しかしこれからの時代、食べ物は勿論、エネルギーも再生可能エネルギーに軸足を置き、地産地消へとシフトしていかなければならないことを知ってもらう機会となりました。



各ブースの様子 ご紹介!

「関西リサイクルシステムズ」さんのブースでは洗濯機の解体ショーが!

洗濯機は97%がリサイクルされ、ごみとして廃棄されるのはわずか3%であるとの話に一同「ほお〜!」と驚きの声。



「竹取物語の会」さんのブースでは

子どもも大人もクラフトを楽しんでいました。



「里山保全の大切さ」や、「保全のためにどんなことをしているのか」などを知ってもらいました。

環境ネットワーク会議のブースでは、



「自転車発電体験」
「エコドライブ体験」
「プラごみ意識調査アンケート」等々

「天の川を清流にする会」さんのブースでは、

天の川に住む魚のこと、川をきれいに保つための努力などを感じていただけたようです。『へ〜!天の川にはお魚がたくさんいるんだね』



南館2階の情報コーナーのリユースコーナーも大盛況



ブースをすべて回りクイズに答えたあと、景品選びを楽しんでいただきました。

インターン生 活動報告

団体や議員にインターン生を送る取り組みをしているドットジェーピーというNPOがあります。

この春休み、そのドットジェーピーから2人の学生が来てくれました。自分たちが社会の担い手となる年代、30年後の「あってほしい社会」のために、どのような政策が必要かを「未来自治体」というテーマの下、枚方市に望まれる政策を一生懸命考えてくれました



近畿大学 建築学科1年 異 穂野花

春休み、ひらかた環境ネットワーク会議さんにインターンシップにさせてもらい、様々な活動をさせていただきました。活動を通して、色んな大人の方が枚方の環境について考えているということを知れたのが貴重な経験でした。

また丸井さんからは環境についての知識や考え方などたくさんを教えてくださいました。私自身、インターンを始める前に比べ「考える力」というのが少しでもついたと思います。とても充実したインターンシップになりました。ありがとうございました!



大阪経済大学 経済学科1年 奥田 桃果

春休みのインターンシップでお世話になりました。エコフォーラム、運営委員会、環境ミニ講座、地球温暖化会議に参加して、環境問題についての理解を深めることができました。私の地元でもある枚方市の取り組みを知る機会がほとんどなかった中で、貴重な経験になりました。

後半の活動では、他の自治体の事例をもとに枚方市で行う政策を考えました。そこで、環境問題は地球規模で取り組まなければならないと実感しました。ひらかた環境ネットワーク会議のみなさんのお話は、勉強になることばかりでした。今後は大学でより深く学んでいきたいです。



部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

環境教育部会

みんなに知ってもらいたい！ ～環境出前授業のこと～



今年2月に開催されたエコフォーラム(1面記載)で、環境教育部会は環境体験コーナーの運営を任されました。体験コーナーでの自転車発電やエコドライブの体験サポート、またブースラリーのクイズでは地球温暖化や省エネランプの問題を準備し、それにも答えてもらいました。その一方で ひらかた環境ネットワーク会議の紹介やプラごみダイエットに関するアンケートでの意識啓発、そしてプロジェクターを活用し映像で環境出前授業の紹介とサポーター募集を呼びかけました。併せて会員募集も呼びかけました。来場者は親子連れが多く、昨年度の環境出前授業(19件)で訪問した学校の児童もおられ、エコドライブシミュレーターや自転車発電を親子で楽しく体験されていました。また、来場者の中には環境出前授業のメニュー冊子の内容や、自転車発電の仕組みなど、熱心に質問される方もあり、活動を知って頂くいい機会となりました。

公共交通部会

第32回バス! のってスタンプラリー 243人が参加くださいました

今回のスタンプラリーは隣接する八幡市とともに実施しました。本事業は、公共交通利用促進施策として、また地域魅力を発信し、まちの活性化を維持できる社会の実現を目指して実施しているのですが、まずは「参加者が楽しんでくださればいいな」そして公共交通の良さや地域の魅力など、「感じてもらえればいいな」「知ってくださったらいいな」とそんな思いで行っています。次回は一日イベントで開催したと思っています。

乞うご期待♪♪



自然エネルギー部会

令和5年度も実施します！！講演会と見学会を

意識や行動を駆り立てる取り組みにするぞお～～



COP(国連気候変動枠組条約 締約国会議)はこれまで27回も開催されています。しかし二酸化炭素濃度は上昇しつづけ、2022年までの8年間の「平均気温」は産業革命前の気温を約1.2度も上回りました。熱波や山火事、大洪水等は地球規模で発生しており、被害を受ける国々が増加しているという現在の状況を見ると「“気候変動はもう避けられない”という諦め」が頭をよぎります。勿論『諦め』てなどいられないのですが、皆さんはいかがですか？

そんな『諦め』を払拭するために、「“温暖化阻止に向けた意識や行動”への後押しが欲しいなあ～～」との思いで、令和5年度も講演会と見学会の開催を予定しています。講演会では、環境ネットワーク会議の立ち上げに尽力された人(例えば、当時の行政の責任者等)から「ネットワーク会議に期待したこと」「第2次枚方市地球温暖化対策行動計画をどうみているか」や「現在進められようとしている原子力発電の建て替え、運転期間の延長等についての考え」を話していただき、私達の「“温暖化阻止に向けた”意識や行動」を駆り立てていただこうと思っています。

見学会は「陸上風力発電所」をメインとした再生可能エネルギー施設の見学会を実施し、風力発電(陸上、洋上、小型)の必要性への理解を深めると共に、設置に関わる問題点や課題について知ることができたらなあ～～と思っています。講演会・見学会ともに、詳細が決まれば改めてご案内させていただきます。その時は是非とも参加してくださいネ！！ 令和5年度も精力的に活動を進めていきます。

◆◆◆環境ミニ講座報告◆◆◆

～レンジで簡単エコクッキング～ 「クリスマスロールケーキ作り」 令和4年11月24日



スポンジケーキがレンジで簡単にできました！焼きあがったスポンジにクリームを塗って巻き、ココアパウダーをふり飾りをつけ、本格的な“ブッシュドノエル”が時短で完成しました！



～100均一に負けない0円クラフト～ 「ミニタペストリーで季節を彩る」 2月16日

家にある包装紙やメモ帳でタペストリーを作り、節句ものを飾ります。今回はひな人形！素敵な作品ができました。桃の花とひなあられで節句を祝いましょう。

